

貫井の風

令和5年度 7月号

NO. 4

練馬区立貫井中学校 学校だより

もう一人の自分が見える

校長 桐野 和之

スポーツ選手などが苦境を乗り越えたときやコンディションがとても良いときなどに、「もう一人の自分が見えた！」と話している場面に出会うことがあります。



たとえば、プロテニスプレイヤーの伊達 公子選手が、当時世界ランキング1位のドイツのグラフ選手に競り勝ったときのことです。あとでわかったのですが、伊達選手はその日、足首をねんざしていました。とても試合に出られる状況ではなかったそうです。しかし、伊達選手は試合を見に来てくれた観客やファンに姿を見せずに試合を棄権してしまうのでは、大変申し訳ない。1ゲームでも試合に出ようと決心し、足首にきついテーピングをしてコートに立ったのです。ところがいざ試合が始まると、足の痛みを感じる自分よりも、コートの方から自分を見つめている「もう一人の自分」を感じたというのです。このような感覚は生まれて初めて。試合は大接戦。紙一重で勝利の女神が伊達選手に微笑むまで、自分は離れたところで、「もう一人の自分」を見つめ、励まし、戦術を練りながら、耐えていたというのです。その他、このような体験談をスポーツ選手がよく口にし、語ります。プロゴルファーの石川遼選手は、「もう一人の自分」を見つめ、自己コントロールしながら、試合に臨むことができれば、必ず勝利に結びつくと語っています。阪神タイガースの元ストッパー、藤川 球児投手も、リリーフでよい状態のときは、「もう一人の藤川投手」を観客と同じ目線で見つめ、集中していると言っています。実は、日本では古くからこのような教えが伝わっています。能の創始者でもある、観阿弥の著書である『風姿花伝』で「能を演じる者は、演じているもう一人の自分を、見つめ演じている自分の存在が大切」という内容のことを述べています。このように自分自身を見つめている「もう一人の自分」を意識することを、心理学では「メタ認知」といいます。また、このような力をメタ認知能力と言い、他にも「自分の能力の限界を正確に予測する能力」「自分にとって今、何が問題となっているかを明確に理解できる能力」「問題の適切な解決方法を予測し、より具体的な解決策の計画を立て有効か判断する能力」「行動目標と活動結果を比べ、実行中的方策の続行や中止を判断する能力」などがあるといわれています。

メタ認知の考え方とは、数学の問題を考え解いていくような授業でみられます。どのように考えたのか、方法を振り返り、自分なりに言葉でまとめてみることも、考えている自分をもう一人の自分が客観的に見つめていることになります。道徳の授業でも考えられるのではないでしょうか。自分が共感できた登場人物の気持ちを考える際に、例えば担任の先生が「あなたがこの登場人物ならば、どう考えますか?」という質問をされたときです。登場人物を考えている自分を、実はもう一人の自分が考えていることがあります。意識しないとなかなかわかりにくいことです。しかし、自分を見つめるもう一人の自分を意識することは、新しい自分を発見し、自分を期待できる行動や望ましい道や方向へ、自己コントロールしていく力に結びついていくかも知れません。まずは、授業や日常の行動の振り返り、先日行われた定期考査の振り返りでもかまわないと思います。

東京都笑顔と学びの体験活動プロジェクト

貫井中学校に、6月10日（土）ロンドンオリンピック柔道78kg超級銀メダリストの杉本美香さんが来校され、生徒たちと対話形式での講演会を実施いたしました。講演会は、令和5年度の東京都笑顔と学びの体験活動プロジェクトの一環として実施されました。

生徒たちからはさまざまな質問が出されました。特に印象に残った杉本さんの回答に、試合中は常に「無」とあると述べたことです。

理由は試合に備え、いろいろな想定や対策を講じ、どのような場面にも対応できる練習や準備を進めることの大切さを語ってくれました。つまり黙っていても体が直ぐに反応できる準備をしていることが凄く印象に残りました。

その他に、生徒から試合に負けた時に立ち直る方法を教えてくださいとの質問の回答も印象に残りました。

試合に負けると落ち込むが、落ち込んでも、反省点をいくつもあげ、次につながる対策を考え、自分を積極的に高めていくと回答されたことでした。負けてもしっかりと反省し、その反省を次に生かしていく生き方が大変印象に残りました。講演会は杉本さんの明るく朗らかな講演のおかげで、会場の生徒たちも盛り上がり、大変有益な時間を過ごすことができました。



貫井中学校建築地周辺の歴史

日本史家 葛城明彦さんより

1 「貫井池があった」

かつて練馬区貫井町1丁目に存在していた湧水池。西側からは貫井川が流れ込んでおり、池からの流れは貫東川を経て石神井川に注いでいた。また、南側湧水源の泉については、「弘法大使が杖で掘り当てたもの」との伝説もあった。北側には先土器時代からの遺跡があり、特に奈良期頃には大集落が完成されていたと考えられている（=貫井二丁目遺跡）。江戸期の絵図にも描かれている池であるが、昭和10年代には大半が湿地となり、1958

（昭和33）年に至って完全に埋め立てられた。跡地中心部にはレジャー施設「富士見台ファミリーランド」が存在していた時期もあったが、短期間で閉園。現在、その跡地はほとんどが宅地等となっている。

2 「貫井」という地名の由来、諸説

- ①（岩盤などを）貫いて水（井）が湧き出ていたため。
- ②「山抜け（＝スケ）」（地すべり、がけ崩れ）により水が湧き出ていたため。
- ③温かい水が湧いていたことから「温井（ぬくい）」と呼ばれ、その表記が変化したもの（※冬場は出頭付近で「湯気が立っていた」との証言あり）。

※同様の地名＝小金井市貫井北町・貫井南町など。

※「石神井」「貫井」など、「井」の地名が付く地は、基本的に湧水が豊富、「良い水が湧く場所」。



※「貫井池」の名は江戸期絵図にはなく、呼称は「溜井」。明治～大正期からの呼び名と思われる（「貫井の池」から次第に「貫井池」変わったか？）。

3 「貫井池と関連する伝説」

円光院（貫井町）の由緒…「円長（1585年＝天正13年6月11日寂）という僧が足腰の痛みに苦しみ、子の大権現に平癒を祈っていたところ、夢の中に僧（※筆者注：一説に「弘法大師」ともされる）が現れ『昔、付近の住民が旱魃（かんばつ）で苦しんでいた際に持っていた杖で田の畦を掘り、水の出口を塞いでいた石を取ったところ泉が湧き出た。その時の石で痛むところを撫でよ』と告げた。円長が付近を探すと小槌の形をした石があり、それで足腰を撫でたところ痛みは治まった。円長はお礼として堂宇を建て、子の大権現とその石を奉った。これが円光院の始まりである」⇒円光院の山号は「南池山（なんちざん）」、寺号は「貫井寺」…南側に貫井池があつたことにちなむ。



4 贯井池跡変遷に関する記述・証言

「ゴミ山が金の山に」「円光院」山号を『南池山』と称したように、現在の西練馬電話局周辺は大きな底なしの沼（※筆者注：「貫井池」のこと）であった。周辺は畠で、銃を持った人々が射撃の練習場とした。少し離れた石神井川の現在のガスタンクあたりではカモ猟が盛んに行われていた。ところが終戦で成増飛行場はグラントハイツとなり朝霞、所沢に米軍の進駐で、大量のゴミのすてどころとなったのがこの沼であった。毎日数十台のゴミがはこばれて底無しの沼は次第にゴミの山となった。そこへ韓国と朝鮮で戦争がはじまり、鉄ブームがおこった。大量の鉄クズがすてられているゴミの山は朝から夕方まで掘る人で黒山の人だかりとなった。その人々目当てに屋台が出る、鉄クズ買いが掘り出された鉄をその場で買取るのでその場で現金になる。正に一寸したゴールドラッシュの騒ぎとなつた。

都内の工場が貫井に移転がはじまつたのは、敵機の空襲がはげしくなつたからで工場の移転は続いた。工進精工所、大泉製作所、特殊バネ、特殊精工、日絆薬品工業、東亜化学工業、富士平工業、竹内化学工業、脇野製綿所、ヒノデバルブ製作所等々数十社となつた。練馬産業連合会の第六班会が結成されたが、練馬最大の工業地帯が突然貫井の畠の真中にぞくぞくと出現した。区では旭町を工業地帯、貫井町と小竹町を準工業地帯に指定、工業誘致をしたのだった。戦前戦後電力事情が悪く、準工業地帯となることで、電力を獲得出来て活発な生産活動をつづけることが実現して区財政への助けとなつた」

（『ふるさと練馬秘話』鳥居義太郎：1986（昭和61）年・練馬経済新聞社刊）

「貫井池跡の周辺一帯は人家も少なかつたため、戦時中以降工場が増え、昭和50年代まで『準工業地帯』に指定されていた。あたりには『不二越精工』『東亜化学工業』『武田薬品東京工場』（東京工場試験農園あり）『ニチバン東京工場』（=現在の練馬第三小学校・練馬区立美術館・貫井図書館付近に存在）などの工場が建ち並んだ」「1958（昭和33）年、池跡北側では（株）酒悦（『福神漬』を創始したとされる会社）練馬工場が操業を開始、周辺の住宅化が進んだため、1974（昭和49）年に茨城県潮来へ移転。跡地は貫井中学校敷地となった（校庭南側を拡大）」

練馬区立中学校生徒海外派遣

3年 男子生徒

この度、貫井中学校の代表として海外派遣に参加します。私がこの海外派遣の存在を知ったのは小学校のときです。私は前から外国に興味がありました。それは小学校の校外学習で浅草に行ったときのことです。友達と回っていたときに外国人の方に声をかけられました。ですが、そのとき僕はその方が何を言っているかがわからず、固まってし

まいりました。ただ、友達は身振り手振り一生懸命話して最後にはその方と写真撮影までしていました。友達の姿を見て、くよくよしていた自分が恥ずかしくなりました。次は自分が喋れるようになりたいと思い、英語の勉強も頑張りました。今年、海外派遣があることを聞いて、やるしかないと思い応募しました。オーストラリアに行ったらホームステイがあります。僕はそこで日本のことなどについて積極的に話をしていきたいです。また、話をするだけではなく質問もしていきたいです。日本とオーストラリアでは生活の仕方が大きく違います。入浴の仕方、食事なども違います。また、ハイスクールの授業も体験します。そこで、日本の中学校とはお昼の過ごし方や授業に違いがあると思うので、自分の目でしっかりと日本との違いを観察したいです。そして、オーストラリアで学んできたことを皆さんに伝えたいです。現地に行って恥をかかぬように語彙力などをつけていきます。貫井中学校の代表として頑張ってきます！応援よろしくお願ひします。

3年 女子生徒

海外派遣候補生に選ばれたそのとき、信じられませんでした。候補生に選出されたために準備はしてきましたが、実際に面接を受けてみると周りの人達に比べ下準備を怠っていたと気づきました。ですが意気込みは誰にも負けない自信がありました。そして選んで頂いたからには学校、練馬区の代表としてしっかりとオーストラリアできまざなことを学んできたいと思います。

私には夢があります。それは国際看護師です。ホストファミリーの方たちにオーストラリアのリアルな医療環境やコロナ禍での医療事情を聞き、学びたいです。また、現地の学生に触れ環境の違いや多様な異文化を肌で感じ今後の人生に活かしていきたいと思います。しかし、この気持ちに至るまでには何度も葛藤がありました。それは雨で部活の引退試合が延期となり候補生の研修日と重なってしまい引退試合に行けないことが決まり、海外派遣を辞退しようかと悩み落ち込みました。それでも、部活の仲間や先生方は試合に行けないことを責めることなく応援してくれました。試合の当日には私のユニフォームをベンチに飾ってくれて、とても嬉しかったです。応援してくれている部活の仲間や先生方の気持ちを無駄にはしたくありません。その想いを胸に抱いて立派に海外派遣を全うします。

部活動の主な活動結果

- サッカーチーム：練馬区中学校生徒総合体育大会 ベスト16
- 卓球部：
 - ①第1回 練馬区中学校チーム卓球研修大会 男子団体 優勝
 - ②第61回 練馬区中学校総合体育大会卓球大会 男子団体 優勝（都大会出場）
- 柔道部（男女）
 - ：第25回第3ブロック中学校対抗女子柔道大会・重量別女子柔道選手権大会〔第61回都総体予選会〕
女子団体戦 優勝 女子個人戦 44kg級 優勝 48kg級 第2位 57kg級 優勝
 - ：第25回第3ブロック中学校対抗柔道大会・重量別柔道選手権大会〔第61回都総体予選会〕
男子団体戦 第3位 男子個人戦 55kg級 第3位 66kg級 優勝 90kg級 優勝
 - ：第53回（公社）東京都柔道整復師会柔道大会 団体戦 優勝
- 剣道部：
 - ①東京都中学校総合体育大会兼夏季剣道選手権大会 男子団体出場
 - ②東京都中学校総合体育大会兼剣道選手権大会 女子個人出場
- 英語部：練馬区英語学芸会での英語演劇（9月予定）
- バドミントン部：第61回練馬区中学校総合体育大会選手権大会バトミントンの部
個人シングルス女子ベスト16